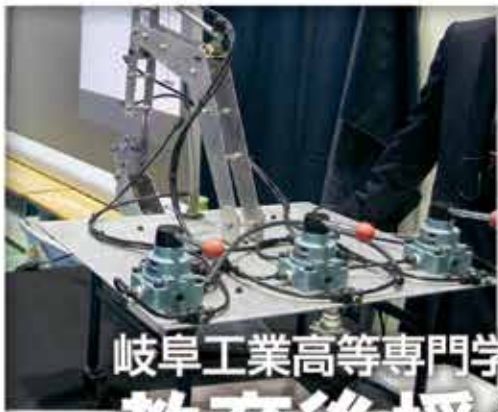




岐阜工業高等専門学校

教育後援会通信

編集：教育後援会事務局

第45号

令和6年3月15日発行



あか

2023年10月28・29日
第59回高専祭

地区保護者懇談会に参加して



教育後援会副会長

橋本 幸治

地区保護者懇談会も昨年から再開され、今回も多くの保護者及び学校関係者の方々に出席していただき開催することができました。私は愛知県地区の懇談会に、教育後援会代表として参加させていただきました。

日頃の子供たちの学校生活、部活動や学業、学校行事等々、不明な点、疑問や不安に思う点などについて、校長先生をはじめ先生方からお話を聞くことができました。

愛知県地区は入寮していない通学の学生も多く、登校・帰宅の時間帯により交通機関の運行時間に合わないときの不便さや時間のロスが生じるなど地区特有の問題や、進路に関する疑問や不安な点などは特に多くの質問や意見が交わされ、有意義な会になったと感じました。

全体会の後に行われた分科会では、先輩の保護者の方から、さらに具体的なアドバイスなどがあり、皆さん真剣に聞いて、少しずつ不安が解消していく様子が印象的でした。

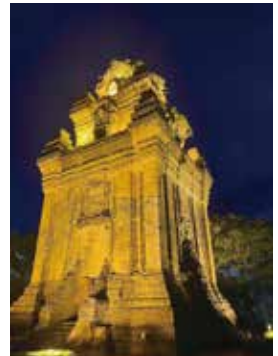
今回残念ながら参加できなかった保護者の皆様には是非次回の参加をお勧めいたします。

先端融合開発専攻1年 高橋 圭太朗

私はベトナムのトゥイフォアにあるMientrung University of Civil Engineeringにて三週間のインターンシップに参加しました。

大学では土木分野をはじめとした専門知識を英語で表現する方法を学びました。現地の学生たちはグローバルに活躍する技術者を目指し、英語の授業に意欲的に取り組んでいました。授業に参加する私たちとも親しげに接していただき、楽しみながら学ぶことができました。学外ではベトナムの建物について見学するField tripに参加しました。地震の多い日本とは異なり、ベトナムでは自由なデザインを施した歴史的な建物が多かったのも興味深かったです。

今回のインターンシップを通して自身の英語力の低さ、学習に対する姿勢を見直す機会となったため今後も自己研鑽に励みたいと思います。最後に、素晴らしい体験をさせてくださったMUCEの先生方と学生の皆様、ならびに支援をしてくださった岐阜高専の関係者様に心より感謝を申し上げます。



先端融合開発専攻1年 畑 佐 向日 葵

私は、ベトナムのハノイ建築大学にて4週間のインターンシップに参加しました。主に建築史とインテリアに関する講義に参加し、グループで模型の作成や研究発表を行いました。大学では基本言語がベトナム語のため意思疎通が難しかったですが、講義でのグループワークや日本語教室での活動を通して、多くの現地学生と交流する機会を持てました。また、授業だけでなくハノイ市街地やフエ、ホイアンなど様々な場所に足を伸ばし、歴史的街並みや建築を見ることができました。そこで得た様々な経験は、私の考え方や価値観を大きく変えるきっかけになりました。

最後に、このような機会を設けてくださったハノイ建築大学の先生と学生の皆様、並びに、支援してくださった岐阜高専関係者様に心より感謝を申し上げます。



先端融合開発専攻1年 新 福 颯 太

休み期間にマレーシア工科大学に1か月ほどインターンシップに参加しました。大学では一人一テーマずつ、与えられたテーマに沿ってプロジェクトを進めました。私は、四脚ロボットの足先に電磁石を設置し、金属でできた柱を垂直に登降するというテーマを担当しました。現地の学生さんは夏休み期間に入っており、交流はかないませんでした。教授や一部の生徒さんとコミュニケーションを取り合い、充実した日々を過ごすことができました。

今回のインターンシップを経て、様々な物事に対し、失敗を顧みず、主体性を持って取り組むことの重要性を感じることができたので、今後の学校生活に全面的に生かしてまいります。



地区保護者懇談会に参加して

2年生 保護者

なかなか学校生活のことを話してくれない子なので、少しでも知りたいと思い、地区保護者懇談会に参加させていただきました。

先に行われた全体会では、今年は高専祭も学生たちによる模擬店も復活し、岐阜高専創立60周年記念事業である講演会も行われ、海外留学も7機関24名の方が渡航されたりと、行事も通常のような状態で行われたと報告がありました。

学科ごとに分かれての懇談会では、先生から進学や就職についての傾向等のお話がありました。就職に関しては、大手では早期選考であるインターンシップ選考が成されており、インターン申込みも就職の意志がないと受け入れていただけないこともあるようです。

自己紹介とともにお子さまの日頃の様子や感じていること、悩み等を1年生の保護者の方々から話していきましました。それに答えていただけるかのような、上級生の保護者の方からお話があり、少し心が楽になりました。参考にさせていただきたいと思います。

地区保護者懇談会に参加して

1年生 保護者

地区保護者懇談会に参加しました。懇談会では父兄の方々の自己紹介を兼ねたお話を大変興味深く聞きました。先生からは進学・就職や、寮生活でのお話があり、その中で嬉しい報告がありました。寮内で勉強会があり、得意な生徒が先生になって教えてくれているという素晴らしい試みです。今どきの子は個人主義だと思っていたので大変驚きました。そして、少し羨ましいです。仲間と勉強を教え合う経験は、学校生活での貴重な財産になると思います。私の息子はきっと教えてもらえばかりですが、是非この勉強会を続けていただきたいです。

1つ気になる報告は、自動車や自転車による事故、部活動でのケガです。親元から離れているので、何かあった時直ぐに行ってあげられないのが心配なところ。口酸っぱく言うことしかできなくて、もどかしいというのが親の気持ちです。

そんな心配も共有し、学校生活についての意見交換や要望なども幾つかあり、なるほどと思うことが多々あって大変有意義な機会となりました。

地区保護者懇談会に参加して

4年生 保護者

美濃・可茂地区の地区保護者懇談会は、11月18日(土)に関市文化会館で開催しました。

雨が降りとても寒くて、強い風が吹く日でしたが、およそ40人の保護者の方が出席してくださいました。全体会では、副校長先生方から「行事」「進路」「研究」「厚生補導」「寮務」等についてお話がありました。「行事」については、コロナ禍でなかなかできていなかった行事も、徐々に行われるようになり、学生たちも楽しく充実して取り組んでいる様子を伺いました。「進路」については、進級・卒業に厳しい基準があることや、大学・就職の推薦に関わるお話を伺い、改めて気を引き締めて学業に取り組むことの大切さを感じました。全体会の最後に、次年度の代表地区理事を選出する必要があったのですが、立候補ですぐに決めることができ、後援会活動への関心の高さに感激しました。

分科会は、機械工学科・電気情報工学科・電子制御工学科と、環境都市工学科・建築学科の2グループに分かれて行いました。ここでも、司会者と記録者が立候補で決まり、会員の皆さんの積極的な参加に助けられました。ありがとうございました。

分科会での話題としては、我が子の様子として「学校のことはあまり話さないが、楽しく充実した学校生活を送っているようだ」というお話が多かったです。また、お子さんが入寮している家庭が多い地区ということもあり「食事」「掃除」「入浴」など寮での生活についての話題が多かったです。その中でも、生活リズムを整えることや自分で洗濯をすることなど、自立した生活ができるようになってきて、たいへんありがたいというお話が印象的でした。

地区保護者懇談会に参加して

3年生 保 護 者

11月11日に滋賀地区保護者懇談会に参加しました。地区の在学生21名に対して13名の参加がありました。

先生方からの校務報告後に参加者全員が自己紹介を兼ねた子供の現況報告を行いました。寮生活、勉強、進路、進級、部活動、友人関係について、不安や心配事以上にとても充実した現況である方が多く、特にロボット研究会に入部されている方の活躍に感心しました。自主自立を重んじるゆえの成長があり、岐阜高専の素晴らしさを再認識しました。

その後2グループに分かれての意見交換を実施し、各グループともに多いに盛り上がり、大変有意義な時間となりました。

地区のほとんどが寮生で、普段家族と離れた生活をおくる中では学校や子供の状況がタイムリーには伝わってきません。今回の懇談会で学年、学科の垣根を超えて保護者同士が情報共有できたことは何より良かったと思いました。地元での開催にとても感謝しています。遠方から足を運んで頂いた先生、副会長、事務方の皆様、本当にありがとうございました。

教育後援会地区保護者懇談会に参加して

専攻科1年 保 護 者

本科を卒業して専攻科へ入学してほっとしたのも束の間、夏季休暇中にはインターンや就活、進学についての話題が飛び交うようになり、親としては気持ちが追いつかない日々でした。子供とはいえ成人しており、進路については本人が考えるのであり見守りしかないのですが、情報が少なくやきもきしていました。そんな折、地区保護者懇談会での専攻科の分科会に参加させていただき、就職までの流れや学校推薦に関する事、大学院への進学の概要から実状や注意すべきことなどを、包括的に手際よくまとめて説明がありすっきりしました。また、専攻科2年生の保護者の方も参加していただいて、親目線のお話をいろいろとお聞かせいただき大変参考になりました。コロナ禍を経て懇談会に出席しないことに慣れていたところでしたが、久しぶりに参加してちょっとしたことを気軽に質問することや、情報交換ができる場のありがたさを改めて感じました。

編 集 後 記

今年は新型コロナウイルスの猛威が去り、岐阜高専でも高専体育大会・高専祭・研修旅行などが行われ、従来の賑わいが戻ってきました。そんな中で岐阜高専は60周年を迎え記念式典等が行われ、「創立60周年記念誌」も発行されました。教育後援会もこのような岐阜高専への貢献が認められ表彰を受けました。

今年度も残すところ僅かになり学校では新しい年度を迎える準備が着々と進んでいくところです。保護者の皆様にはインフルエンザの予防など、学生の健康を第一に考えていただき新年度を迎えられるようお願いいたします。



式典で校長から表彰を受ける西崎会長

発行：岐阜工業高等専門学校・教育後援会事務局

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236-2 TEL.058-323-8752

FAX.058-322-6571

URL : <http://www.gifu-nct.ac.jp/kouenkai/>

MAIL : gnctk@iaa.itkeeper.ne.jp